



今月のテーマ 『疾病予防と治療月間』

第1458回例会

2016年12月22日 Vol.31/No.22

■本日の例会 / 第1459回 平成29年1月12日(木)

- 会長・幹事報告
- 各委員会報告……………各委員長
- 年男年女スピーチ……三輪修珍 会員、秦喜八郎 会員
- 誕生&結婚記念お祝い報告…フェローシップ委員会

【出席率状況報告】

- ・会員数 ……………54名
- ・出席者 ……………24名
- ・欠席者 ……………30名
- ・出席率 ……………55.56%
- ・12/ 8の修正出席率…70.37%

■会長挨拶



会長 香川美穂子

こんばんは。いよいよ押し詰まり年末懇親会を迎えました。今年1年皆様にはどんな1年だったのでしょうか。私にとってこの1年は新しい2つの事柄と取り組むとてもやり甲斐のある1年でした。一つは昨年末に完成した80人収容の音楽ホールの運用。もう一つはこのロータリークラブ会長と言うお役目です。ホールは宮崎に私が望むこじんまりした音響の良い建物が無いから「無いなら造るしか無い」と思い行動しました。会長と言うお役も、お話をいただいた時「私は障害者ですし(障害者手帳をちゃんと持っています)運転も致しません。建築中のホールが完成したらどれくらい忙しくなるか見当もつきません」と私の状況もお話しましたが、「きっと皆さん私よりも数段忙しくお役を受ける方がおられないのだから、それじゃ仕方ないか」と思い受けました。私は舞い込んでくる全ての事柄に対し「これは新しいチャンス、自分を試すチャンス」と思う癖があるようです。これは、ロータリーで言うところの「ロータリーにNOは無い」に通じると思います。私は子供を育てている時に「チャンスを頂けるだけ幸せと思いなさい。世の中にはチャンスすら頂けない人もいますのですよ」と言い聞かせました。チャンスが無いと折角持って居る自分の能力を発揮する事もできないのです。私はお話ししたと思いますが15年前に脳内出血を起こし左

半身完全麻痺を経験致しました。それからの毎日は「如何に元の自分に戻るか」と言う生活であり「人間の身体は素晴らしい。色々な能力、色々な可能性を持たせていただいている」を実感する生活です。ですから色々な事をさせて頂ける事は自分の能力を引き出すチャンスを頂いて居ると前向きに捉え楽しむ事にしています。勿論人の世、無神経な言葉も聞こえイラつく事もあります。でも何を言われようと大事な事は「何がこの事の目的なのか? どうすれば皆さんのお役に立てるのか?」だけです。来年もこの流儀で過ごして行きたいと思えますしそれしか出来無いでしょう。「よだき〜」「そんなにせんでもいいっちゃが…」と言う言葉は私の辞書には無いと思います。「人としてどうあるべきか」が肝心な事であり、それこそがロータリーが謳っていることに他ならないと思います。では皆さん、フェローシップ委員の方が色々準備下さってるようです。楽しい懇親会を!そして良いお年をお迎え下さい。

■米山奨学金授与式

バトムンク
パータルスレン 君



出席委員会報告

委員長 岡田圭史

◆12/ 8メイクアップ者名(敬称略)

甲斐孝則、野村勝政、山田知樹





発行/ 宮崎中央ロータリークラブ

- 事務局 〒880-0804 宮崎市宮田町10-25 宮田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288
 - 例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30~13:30)
- 会長/香川美穂子 副会長/三輪修珍・田中 寿 幹事/江藤敬治